

C0. Introduction

C0.1

(C0.1) Give a general description and introduction to your organization.

稲畑産業は、情報電子・化学品・生活産業・合成樹脂の4つの事業分野を展開する化学系商社です。

情報電子事業では、液晶・有機ELを中心としたフラットパネルディスプレイやLED 関連業界への部材、デジタル印刷やイメージング関連業界の各種原材料等を取り扱っています。また、再生可能エネルギーや半導体・電子部品、工業用材料などの幅広いビジネスフィールドで、原料からプロセス材料、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションの提供も行っています。

化学品事業は化学部門と建材部門があり、化学部門では合成樹脂・ウレタン・繊維などの石油化学関連産業に対する原料・中間物や、塗料・インキ・接着剤を三本柱に添加剤や溶剤など幅広い原材料、自動車を中心に船舶や航空機で使われる摩擦材・タイヤ原料・放熱材などを販売しています。また、建材部門ではハウスメーカーや建材・住設材メーカーが必要とする環境に配慮した建材、パーティクルボード・木材・住設機器・プラスチック製品やその原料などを取り扱っています。

生活産業事業は、主に医農薬、防虫・殺虫剤や芳香・消臭剤などの原料を取り扱うライフサイエンスビジネスと、水産・農産物を取り扱う食品ビジネスを展開しています。ライフサイエンスビジネスは、海外拠点での医農薬原料・中間体の製造をはじめ、先端医療用装置・材料の調達、有機合成受託サービス、医薬品物流サービス、さらには家庭用品の企画開発までトータルソリューションを提供しています。食品ビジネスでは、安心・安全な農産物・水産物を世界中から輸入・販売するだけでなく、北海道のブルーベリー栽培やベトナムの水産品加工などにも取り組み、川上から川下まで幅広い分野でビジネスを展開しています。

合成樹脂事業では、生活用品や建材・土木向けの合成樹脂、家電・OA機器等の高機能樹脂材料や関連資材、自動車や自動二輪向けの樹脂コンパウンド製品を取り扱っています。また、フィルム・シートに関する企画立案から素材選定、製造加工を行うほか、最終製品、およびパッケージングに関する企画などを提案しています。その取り扱い分野は、ポリエチレン樹脂やフィルム製品などの産業資材、加工用フィルム、ラミネート製品、シート用樹脂原料および成形品、スポーツ資材など多岐にわたります。また、アジアの6カ国とメキシコの計7カ所で樹脂コンパウンド工場を運営し、材料の選定から加工に至るトータルなサービスを提供しています。

1890年の創業以来、高度な専門知識やノウハウに基づくビジネスプランニング、マーケティング、製造や物流を通し、幅広いニーズに応えるべく努力を続けてきました。現在では、海外18か国、約60拠点で事業を展開し、連結従業員数は4,207名、売上高6,809億円、海外売上高比率59%となっています。(2022年3月31日時点)

当社は、2030年頃のありたい姿として、長期ビジョン「IK Vision 2030」を2017年5月に策定しました。連結売上高1兆円以上、海外比率70%以上などを目指しています。また、長期ビジョンの達成に向けて、2021年4月からその第2ステージとなる3カ年の中期経営計画「New Challenge 2023」を推進しています。

C0.2

(C0.2) State the start and end date of the year for which you are reporting data.

	Start date	End date	Indicate if you are providing emissions data for past reporting years	Select the number of past reporting years you will be providing emissions data for
Reporting year	April 1 2021	March 31 2022	No	<Not Applicable>

C0.3

(C0.3) Select the countries/areas in which you operate.

- Australia
- Brazil
- China
- France
- Germany
- India
- Indonesia
- Japan
- Malaysia
- Mexico
- Myanmar
- Philippines
- Republic of Korea
- Singapore
- Taiwan, China
- Thailand
- Turkey
- United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland
- United States of America
- Viet Nam

C0.4

(C0.4) Select the currency used for all financial information disclosed throughout your response.

JPY

C0.5

(C0.5) Select the option that describes the reporting boundary for which climate-related impacts on your business are being reported. Note that this option should align with your chosen approach for consolidating your GHG inventory.

Financial control

C0.8

(C0.8) Does your organization have an ISIN code or another unique identifier (e.g., Ticker, CUSIP, etc.)?

Indicate whether you are able to provide a unique identifier for your organization	Provide your unique identifier
Yes, an ISIN code	JP314600009

C1. Governance

C1.1

(C1.1) Is there board-level oversight of climate-related issues within your organization?

Yes

C1.1a

(C1.1a) Identify the position(s) (do not include any names) of the individual(s) on the board with responsibility for climate-related issues.

Position of individual(s)	Please explain
Board Chair	稲畑産業グループは、サステナビリティ委員会を設置し、同委員会において気候変動を含むサステナビリティに関する方針と施策の策定・承認、モニタリングを実施するとともに、取締役会へ報告しています。同委員会は、最低年1回開催（必要に応じて臨時開催）することを原則としており、委員長を代表取締役社長執行役員（取締役会議長）、副委員長をサステナビリティを担当する代表取締役専務執行役員が務め、委員は各セグメント担当の取締役2名および執行役員1名と、主な管理部門長6名で構成されています。また、オブザーバーとして社外取締役6名、非業務執行の取締役1名と監査等特命役員1名が参加し、同委員会の公平性や有効性を検証するために監視するとともに、必要に応じて進言します。サステナビリティ委員会で決議された事項は、事務局であるサステナビリティ推進部が実行・運営し、グループ全体のサステナビリティ活動を推進しています。また、当社グループはISO14001に基づく環境マネジメントシステム（EMS）を構築しており、EMSによる活動結果は、最高責任者である代表取締役社長執行役員（取締役会議長）に報告されるとともに、取締役会に報告されています

C1.1b

(C1.1b) Provide further details on the board's oversight of climate-related issues.

Frequency with which climate-related issues are a scheduled agenda item	Governance mechanisms into which climate-related issues are integrated	Scope of board-level oversight	Please explain
Scheduled – some meetings	Reviewing and guiding strategy Reviewing and guiding major plans of action Reviewing and guiding risk management policies Reviewing and guiding annual budgets Reviewing and guiding business plans Setting performance objectives Monitoring implementation and performance of objectives Monitoring and overseeing progress against goals and targets for addressing climate-related issues	<Not Applicable>	取締役会規程において、以下の通り気候関連問題について取締役会で報告することが決められている。 「総務部門の担当取締役の報告には、最低限年1回、気候変動などの地球環境問題への配慮、人権の尊重、従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然災害等への危機管理など、サステナビリティを巡る課題への取組の状況（コーポレートガバナンス・コード補充原則2 - 3④）、および「気候変動に係るリスク及び収益機会が自社の事業活動や収益等に与える影響」（コーポレートガバナンス・コード補充原則3 - 1③）に関する報告を含むものとする。」

C1.1d

(C1.1d) Does your organization have at least one board member with competence on climate-related issues?

Row	Board member(s) have competence on climate-related issues	Criteria used to assess competence of board member(s) on climate-related issues	Primary reason for no board-level competence on climate-related issues	Explain why your organization does not have at least one board member with competence on climate-related issues and any plans to address board-level competence in the future
1	Yes	・上場企業における気候関連問題を含むサステナビリティ推進についての経験 ・気候関連問題を含むサステナビリティ関連の社外団体等での役員や講師などの経験	<Not Applicable>	<Not Applicable>

C1.2

(C1.2) Provide the highest management-level position(s) or committee(s) with responsibility for climate-related issues.

Name of the position(s) and/or committee(s)	Reporting line	Responsibility	Coverage of responsibility	Frequency of reporting to the board on climate-related issues
Chief Executive Officer (CEO)	<Not Applicable>	Both assessing and managing climate-related risks and opportunities	<Not Applicable>	Annually

C1.2a

(C1.2a) Describe where in the organizational structure this/these position(s) and/or committees lie, what their associated responsibilities are, and how climate-related issues are monitored (do not include the names of individuals).

当社は、監査等委員会設置会社です。現在は、取締役（監査等委員を除く）は7名（うち独立社外取締役2名）、取締役（監査等委員）は4名（全員が独立社外取締役）となっており、監督機能の一層の強化を図るため、取締役11名のうち独立社外取締役が過半数（6名）を占める構成としています。また、コーポレートガバナンス機能を強化するため、任意の委員会として、指名・報酬委員会を設置しています。

当社は、代表取締役社長執行役員直轄の業務執行機関として4つの委員会を設置しており、その1つがサステナビリティ委員会です。委員長を代表取締役社長執行役員が務め、副委員長をサステナビリティ担当役員（代表取締役専務執行役員）が務め、委員は各セグメント担当の取締役2名および執行役員1名と、主な管理部門長6名で構成されています。また、オブザーバーとして社外取締役6名、非業務執行の取締役1名と監査等特命役員1名が参加し、同委員会の公平性や有効性を検証するために監視するとともに、必要に応じて進言します。

同委員会は最低年1回開催（必要に応じて臨時開催）することを原則としており、気候変動を含むサステナビリティに関する方針と施策の策定・承認、モニタリングを実施するとともに、取締役会規程において定められている通り、取締役会へ報告をしています。

サステナビリティ委員会規程において、以下の事項を審議、決定することを定めています。

- (1) 気候関連問題を含むサステナビリティ経営の基本方針および推進活動の策定に関する事項
- (2) 気候関連問題を含むサステナビリティ経営の社内推進体制の構築および整備に関する事項
- (3) 気候関連問題を含むサステナビリティ経営の重点課題（マテリアリティ）の特定とモニタリングに関する事項
- (4) 気候関連問題を含むサステナビリティ関連の情報開示に関する事項
- (5) その他、気候関連問題を含むサステナビリティに関連する重要事項

C1.3

(C1.3) Do you provide incentives for the management of climate-related issues, including the attainment of targets?

	Provide incentives for the management of climate-related issues	Comment
Row 1	Yes	

C1.3a

(C1.3a) Provide further details on the incentives provided for the management of climate-related issues (do not include the names of individuals).

Entitled to incentive	Type of incentive	Activity incentivized	Comment
Director on board	Monetary reward	Other (please specify) (複数の外部評価機関によるESGスコア)	当社は、役職別固定報酬をベースに税金等調整前当期純利益（一部の政策保有株式の売却益を除く）、ROIC（投下資本利益率）及び複数の外部評価機関（FTSE Russel及びMSCI）によるESGスコアの各水準に応じた係数を掛けて業績連動報酬を計算しています。取締役（監査等委員である取締役及び業務執行取締役でない取締役を除く）はグループ会社を含めた当社グループ全体の営業活動、財務活動など全ての事業活動に責任を負っており、その成果は連結税金等調整前当期純利益に表れていると考え、一つの指標としています。また、当社は中期経営計画NC2023における主要重点施策の一つとして、「将来の成長に向けた投資の積極化」を掲げていること、さらに資本市場からの要請や上場企業の動向を踏まえ、資本効率や投資利回りについても考慮すべきと考え、新たにROICを指標にすることといたしました。さらに、サステナビリティへの対応は当社の重要な経営課題と認識していることから、複数の外部評価機関によるESGスコアを取得し、これを新たな指標として追加しています。これらの外部評価機関によるESGスコアについては、多分に気候関連問題の管理に対するの評価が含まれており、結果として気候変動問題関連の管理に対するインセンティブが取締役に対して付与されています。

C2. Risks and opportunities

C2.1

(C2.1) Does your organization have a process for identifying, assessing, and responding to climate-related risks and opportunities?

Yes

C2.1a

(C2.1a) How does your organization define short-, medium- and long-term time horizons?

	From (years)	To (years)	Comment
Short-term	1	3	中期経営計画の単位が3年間のため、短期は3年間で設定
Medium-term	4	6	中期経営計画の単位が3年間のため、次期中期経営計画の設定期間である、4~6年先を中期と設定
Long-term	7	28	2050年カーボンニュートラル宣言を発表したため、2050年までを長期と設定

C2.1b

(C2.1b) How does your organization define substantive financial or strategic impact on your business?

当社は、当初設定した各営業本部の事業計画や予算から大幅に未達が予想される場合、実質的な財務上の影響があると判断しています。事業への実質的な影響の指標としては、売上高および利益を用いています。当社には4つのセグメントがありますが、売上・利益の面において差があるため、単なる金額での評価ではなく、影響を受けるセグメントにおける影響の度合いや、影響を受けるセグメントの当社内での売上・利益における依存度などを総合的に勘案し、財務および戦略面での重大な影響があるかどうかを判断しています。

気候変動に伴うリスクの高まりによって、調達コストの上昇や、管理コストの上昇を招き、当社の利益の減少という結果につながる恐れがあります。一方で気候変動に伴うリスクを、低炭素商材の販売の伸長等の機会に好転させることにより、売上および利益に正の影響をもたらすと考えます。そのため、気候変動の影響は最終的に売上・利益という財務指標で評価をすることができます。

しかしながら、売上・利益といった財務的指標だけでは判断できない戦略的影響もあると考えています。当社ではレピュテーションリスクに関する問題や労働に関する問題、コンプライアンスに関する問題等は財務指標ではない、定性的な影響度合いも勘案し、影響の重大さを判断しています。

C2.2

(C2.2) Describe your process(es) for identifying, assessing and responding to climate-related risks and opportunities.

Value chain stage(s) covered

Direct operations
Upstream
Downstream

Risk management process

A specific climate-related risk management process

Frequency of assessment

Annually

Time horizon(s) covered

Short-term
Medium-term
Long-term

Description of process

稲畑産業グループは、従来のリスク管理手法だけでは不確実な要素を含む長期的な影響を管理するには十分ではないと考え、気候変動関連のリスク・機会および対策については、サステナビリティ委員会にて分析・評価を実施し、進捗をモニタリングするとともに、取締役会に報告しています。

一方、環境法令等を含む全社に関わる多様なリスクについては発生の未然防止およびリスク対応を図るために社長を委員長としたコンプライアンス委員会を設置しています。同委員会は定期的に年4回開催するとともに必要に応じて臨時開催をし、重要な内容については必要に応じて取締役会に報告しています。

C2.2a

(C2.2a) Which risk types are considered in your organization's climate-related risk assessments?

	Relevance & Inclusion	Please explain
Current regulation	Relevant, always included	当社は、化学系商社としてエネルギーを多く消費する化学品等を取り扱っているため、エネルギー価格の変動や環境規制（低炭素・省エネ等）の強化、再生可能エネルギー政策の強化などは、事業の財務的影響に関連するリスクであると認識し、その情報収集や法規制関連の管理強化に努めています。現行の規制が気候変動や各国の動きに伴って厳しものになっていくと、規制対応による調達コスト等の間接費が増加するリスクになると考えています。当社にとってこれらの気候変動に関連する規制の強化は、常に関連するリスクとして評価に含めています。
Emerging regulation	Relevant, always included	当社は、化学系商社としてエネルギーを多く消費する化学品等を取り扱っているため、エネルギー価格の変動や環境規制（低炭素・省エネ等）の強化、再生可能エネルギー政策の強化などは、事業の財務的影響に関連するリスクであると認識し、その情報収集や法規制関連の管理強化に努めています。拠点を有する日本および世界各国における炭素税の導入、環境規制（低炭素・省エネ等）の強化、再生可能エネルギー政策の強化などの、新たな法規制は調達コストなどの間接コストの増加を引き起こす恐れがあり、事業収益に対する大きなリスクであると考えています。当社にとってこれらの気候変動に関連する規制の強化は、常に関連するリスクとして評価に含めています。
Technology	Relevant, always included	GHG排出削減の取り組みが世界各国で強化されており、当社においてもすべてのセグメントで、より低炭素な商材が市場から求められています。それに伴い、低炭素な新技術や代替技術に関連した投資を増やしていくことによるコスト増や、それらの投資失敗による回収不能リスク等が想定されます。また、低炭素な技術革新に伴う、既存商材の販売量や利益の低下も想定されます。これらは事業収益に対する大きなリスクであり、当社にとってこれらの低炭素技術への移行は、常に関連するリスクとして評価に含めています。また、廃プラスチックが社会問題となっているなか、当社は国際アライアンス「Alliance to End Plastic Waste (AEPW)」に参加し、プラスチック廃棄物問題の解決に向け、取り組みを進めています。将来的なプラスチック廃棄物問題の解決策には、プラスチックのリサイクル技術の開発・社会実装があると認識しており、当社ではマテリアルリサイクルビジネスに取り組み、プラスチック循環社会の構築を目指す取り組みを進めています。
Legal	Not relevant, explanation provided	当社においては、気候関連の訴訟リスクは皆無ではないものの、業種等を踏まえるとその影響は重大なものではないと考えられるため、評価には含めていません。
Market	Relevant, always included	当社は、化学系商社としてエネルギーを多く消費する化学品等を取り扱っているため、気候変動による原材料やエネルギー価格の高騰は、調達コストの増加および価格転嫁した場合の受注減による売上・利益の減少というリスクがあります。特に合成樹脂事業においては、海外の樹脂コンパウンド工場をはじめとして、国内外に製造・加工部門を持っているため、主にこれらの製造・加工部門において、このリスクが顕著であると考えています。また、消費行動の変化も当社の事業に影響を与えるリスクであり、特に生活産業セグメントの食品事業において、気候変動に伴う食品に対する消費者ニーズの変化によって商品の売上減少というリスクがあると認識しています。気候変動に伴い、市場動向にも大きな変化をもたらすと考えますが、将来的にその不確実性が拡大することにより、顧客のサプライチェーン見直しによる当社の既存ビジネスの減少であったり、モビリティ事業におけるEV・燃料電池車等への置換による既存ビジネスの減少であったりといったリスクが想定されます。よって、当社にとってこれらの気候変動に関連する市場の変化は、常に関連するリスクとして評価に含めています。
Reputation	Relevant, always included	国内外を問わず、投資家や得意先企業などのステークホルダーから、気候変動問題への対応要求が高まっており、それらの要求に応えられない場合、当社の評判（レピュテーション）が悪くなるリスクが高まることを認識しています。気候関連の企業行動については様々ありますが、例えば低炭素・脱炭素ビジネスの取り組みが遅れることにより、投資家からの投資引き揚げや、得意先企業のサプライチェーンから外される等の影響があると考えられます。よって、当社にとってこれらの気候変動に関連する評判（レピュテーション）は、常に関連するリスクとして評価に含めています。
Acute physical	Relevant, always included	当社は、国内外に約60の拠点を構えており、気候変動に伴う台風や豪雨、猛暑などの異常気象の激甚化や多発が、事業継続に大きな影響を与え、財務的な影響を受けるリスクであると認識しています。特に当社の拠点の中でも、製造・加工工場やその発電施設においては、異常気象での損壊による稼働不能リスクがあります。また、当社の合成樹脂事業の主要なサプライヤーである石油化学プラントは沿岸部に位置していることも多く、自然災害による損壊のリスクがあり、サプライチェーン分断によるビジネスの停滞や減少がリスクとして考えられます。当社の生活産業セグメントでは食品事業を展開していますが、異常気象による農林水産物の壊滅被害や不作による調達量・供給量の不足という影響も考えられます。よって、当社にとって急性の物理的リスクは、常に関連するリスクとして評価に含めています。
Chronic physical	Relevant, always included	当社は、世界中でサプライチェーンを築いており、気候変動に伴う平均気温の上昇や、降水・気象パターンの変化、海面上昇などの慢性的物理的リスクが事業継続に大きな影響を与え、財務的な影響を受けるリスクであると認識しています。当社の合成樹脂事業の主要なサプライヤーである石油化学プラントは沿岸部に位置していることも多く、降水・気象パターンの変化や海面上昇等により損壊のリスクがあり、サプライチェーン分断によるビジネスの停滞や減少がリスクとして考えられます。また、当社は太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギー関連の事業を展開していますが、日照量の変化や樹木の生育不良などの影響により、事業が停滞、販売不振などの財務的影響が考えられます。加えて、生活産業セグメントの食品事業においては、気温上昇や降水の変化・海面上昇等により、水産品・農産品の確保競争が激化し、それに伴う調達コストの増加や農業ビジネスの採算悪化などのリスクが見込まれます。よって、当社にとって慢性的物理的リスクは、常に関連するリスクとして評価に含めています。

C2.3

(C2.3) Have you identified any inherent climate-related risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes

C2.3a

(C2.3a) Provide details of risks identified with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business.

Identifier

Risk 1

Where in the value chain does the risk driver occur?

Direct operations

Risk type & Primary climate-related risk driver

Technology	Substitution of existing products and services with lower emissions options
------------	---

Primary potential financial impact

Decreased revenues due to reduced demand for products and services

Climate risk type mapped to traditional financial services industry risk classification

<Not Applicable>

Company-specific description

GHG排出削減の取り組みが世界各国で強化されており、当社においてもすべてのセグメントで、より低炭素な商材が市場から求められています。例えば、情報電子セグメントでは再生可能エネルギー分野、合成樹脂セグメントではリサイクルプラスチックやバイオマスプラスチックなどでそれらの要求が高まっています。それに伴い、低炭素な新技術や代替技術に関連した投資を増やしていくことによるコスト増や、それらの投資失敗による回収不能リスク等が想定されます。また、低炭素な技術革新に伴う、既存商材の販売量や利益の低下も想定されます。これらは事業収益に対する大きなリスクであり、当社にとってこれらの低炭素技術への移行は、常に関連するリスクとして評価に含めています。また、当社の売上の約4割を占める合成樹脂事業の分野では廃プラスチックが社会問題となっているなか、当社は国際アライアンス「Alliance to End Plastic Waste (AEPW)」に参加し、プラスチック廃棄物問題の解決に向け、取り組みを進めています。将来的なプラスチック廃棄物問題の解決策には、プラスチックのリサイクル技術の開発・社会実装があると認識しており、当社ではマテリアルリサイクルビジネスに取り組み、プラスチック循環社会の構築を目指す取り組みを進めています。

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Very likely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

Cost of response to risk

Description of response and explanation of cost calculation

Comment

Identifier

Risk 2

Where in the value chain does the risk driver occur?

Direct operations

Risk type & Primary climate-related risk driver

Market	Other, please specify (市場動向の 不確実性の 拡大)
--------	--

Primary potential financial impact

Decreased revenues due to reduced demand for products and services

Climate risk type mapped to traditional financial services industry risk classification

<Not Applicable>

Company-specific description

当社は、化学系商社としてエネルギーを多く消費する化学品等を取り扱っているため、気候変動による原材料やエネルギー価格の高騰は、調達コストの増加および価格転嫁した場合の受注減による売上・利益の減少というリスクがあります。特に合成樹脂事業においては、海外の樹脂コンパウンド工場をはじめとして、国内外に製造・加工部門を持っているため、主にこれらの製造・加工部門において、このリスクが顕著であると考えています。また、消費行動の変化も当社の事業に影響を与えるリスクであり、特に生活産業セグメントの食品事業において、気候変動に伴う食品に対する消費者ニーズの変化によって商品の売上減少というリスクがあると認識しています。気候変動に伴い、市場動向にも大きな変化をもたらすと考えますが、将来的にその不確実性が拡大することにより、顧客のサプライチェーン見直しによる当社の既存ビジネスの減少であったり、モビリティ事業におけるEV・燃料電池車等への置換による既存ビジネスの減少であったりといったリスクが想定されます。よって、当社にとってこれらの気候変動に関連する市場の変化は、常に関連するリスクとして評価に含めています。

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Very likely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

Cost of response to risk

Description of response and explanation of cost calculation

Comment

Identifier

Risk 3

Where in the value chain does the risk driver occur?

Upstream

Risk type & Primary climate-related risk driver

Acute physical	Other, please specify (台風や豪雨、猛暑などの異常気象の激甚化、多発)
----------------	--

Primary potential financial impact

Decreased revenues due to reduced production capacity

Climate risk type mapped to traditional financial services industry risk classification

<Not Applicable>

Company-specific description

当社は、国内外に約60の拠点を構えており、気候変動に伴う台風や豪雨、猛暑などの異常気象の激甚化や多発が、事業継続に大きな影響を与え、財務的な影響を受けるリスクであると認識しています。特に当社の拠点の中でも、製造・加工工場やその発電施設においては、異常気象での損壊による稼働不能リスクがあります。また、当社の合成樹脂事業の主要なサプライヤーである石油化学プラントは沿岸部に位置していることも多く、自然災害による損壊のリスクがあり、サプライチェーン分断によるビジネスの停滞や減少がリスクとして考えられます。当社の生活産業セグメントでは食品事業を展開していますが、異常気象による農林水産物の壊滅的被害や不作による調達量・供給量の不足という影響も考えられます。よって、当社にとって急性の物理的リスクは、常に関連するリスクとして評価に含めています。

Time horizon

Short-term

Likelihood

Virtually certain

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

Cost of response to risk

Description of response and explanation of cost calculation

Comment

Identifier

Risk 4

Where in the value chain does the risk driver occur?

Upstream

Risk type & Primary climate-related risk driver

Chronic physical	Other, please specify (平均気温 上昇 / 降水・気象 パターンの 変化 / 海面上昇)
------------------	---

Primary potential financial impact

Decreased revenues due to reduced production capacity

Climate risk type mapped to traditional financial services industry risk classification

<Not Applicable>

Company-specific description

当社は、世界中でサプライチェーンを築いており、気候変動に伴う平均気温の上昇や、降水・気象パターンの変化、海面上昇などの慢性的物理的リスクが事業継続に大きな影響を与え、財務的な影響を受けるリスクであると認識しています。当社の合成樹脂事業の主要なサプライヤーである石油化学プラントは沿岸部に位置していることも多く、降水・気象パターンの変化や海面上昇等により損壊のリスクがあり、サプライチェーン分断によるビジネスの停滞や減少がリスクとして考えられます。また、当社は太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギー関連の事業を展開していますが、日照量の変化や樹木の生育不良などの影響により、事業が停滞、販売不振などの財務的影響が考えられます。加えて、生活産業セグメントの食品事業においては、気温上昇や降水の変化・海面上昇等により、水産品・農産品の確保競争が激化し、それに伴う調達コストの増加や農業ビジネスの採算悪化などのリスクが見込まれます。よって、当社にとって慢性的物理的リスクは、常に関連するリスクとして評価に含めています。

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Very likely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure**Cost of response to risk****Description of response and explanation of cost calculation****Comment****C2.4****(C2.4) Have you identified any climate-related opportunities with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?**

Yes

C2.4a**(C2.4a) Provide details of opportunities identified with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business.****Identifier**

Opp1

Where in the value chain does the opportunity occur?

Direct operations

Opportunity type

Products and services

Primary climate-related opportunity driver

Development and/or expansion of low emission goods and services

Primary potential financial impact

Increased revenues resulting from increased demand for products and services

Company-specific description

GHG排出削減の取り組みが世界各国で強化されており、当社においてもすべてのセグメントで、より低炭素な商材が市場から求められています。例えば、情報電子セグメントでは再生可能エネルギー分野、合成樹脂セグメントではリサイクルプラスチックやバイオマスプラスチックなどでそれらの要求が高まっています。それらのニーズに対して、低炭素技術への先行投資による受注機会の拡大や、低炭素技術・商材の開発や調達網の構築により収益機会の拡大が見込まれます。機会拡大のために、低炭素の新技术や代替技術の先行開発やパートナー開拓を進めています。また、当社の売上の約4割を占める合成樹脂事業の分野では廃プラスチックが社会問題となっているなか、当社は国際アライアンス「Alliance to End Plastic Waste (AEPW)」に参加し、プラスチック廃棄物問題の解決に向け、取り組みを進めています。将来的なプラスチック廃棄物問題の解決策には、プラスチックのリサイクル技術の開発・社会実装があると認識しており、当社ではマテリアルリサイクルビジネスに取り組み、プラスチック循環社会の構築を目指す取り組みを進めています。

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Very likely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure**Cost to realize opportunity****Strategy to realize opportunity and explanation of cost calculation****Comment****Identifier**

Opp2

Where in the value chain does the opportunity occur?

Direct operations

Opportunity type

Products and services

Primary climate-related opportunity driver

Development and/or expansion of low emission goods and services

Primary potential financial impact

Increased revenues resulting from increased demand for products and services

Company-specific description

低炭素・脱炭素社会への移行に伴い、原材料やエネルギー価格の上昇が見込まれますが、商社である当社においては、それに伴った売上の増加が考えられます。一方で、原材料やエネルギー価格の上昇は、エネルギー構成を見直す機会となり、再生可能エネルギービジネスへのニーズが高まることが予想されます。当社においては、太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギー関連の事業を展開しているため、それらの事業において収益の拡大や新規ビジネスの創出が見込まれます。食品事業においては、気候変動リスクの高まりによって、地産地消への消費者意識も高まることが考えられ、当社が展開する国産商材の需要増、売上拡大が見込まれます。また、安全・安心な生活に対する消費者意識の高まりも予想され、当社が認証を取得しているFSCやMSC・ASCなどの認証商材の需要拡大も考えられます。合成樹脂セグメントにおいては、中国・ベトナム・タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシア・メキシコの計7ヶ国で、7つの樹脂コンパウンド工場を運営し、計約20万トンの生産能力（2022年7月1日現在）を有しています。今後、気候変動のリスク回避のために顧客企業が生産の現地化を加速することが予想されますが、当社はこれらの樹脂コンパウンド工場を活用し、顧客の現地生産を支えることが可能なため、新規取引機会の増大を見込んでいます。また、世界中で取り組みが進んでいるカーボンニュートラルの達成に向けて、EVや燃料電池車への置換が進むと考えられますが、当社はそれらの自動車に使用される電池や、軽量化樹脂素材等を提供しており、それらの需要拡大が見込まれます。

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Very likely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure**Cost to realize opportunity****Strategy to realize opportunity and explanation of cost calculation****Comment****Identifier**

Opp3

Where in the value chain does the opportunity occur?

Upstream

Opportunity type

Resilience

Primary climate-related opportunity driver

Resource substitutes/diversification

Primary potential financial impact

Increased revenues resulting from increased demand for products and services

Company-specific description

気候変動に伴う台風や豪雨、猛暑などの異常気象の激甚化や多発により、安定的な調達・供給ニーズが高まり、既存・潜在の顧客企業が自社のサプライチェーンを見直すことが予想されます。当社は国内外に約60の拠点を構えており、拠点を中心としたグローバルなネットワークを持ち、商材開発・パートナー開拓・物流ノウハウといった複合的な商社機能を要しています。それらの機能は、自然災害などの緊急時にその価値をより発揮します。例えば、資金力を生かした在庫拡充であったり、樹脂コンパウンド事業に代表される現地での加工委託等を含めた現地化推進であったり、食品事業における農業・水産資源の上流への事業拡大による安定確保等の機能を基に、顧客に対して商材や物流の代替案を提案することで、新規機会の創出を見込んでいます。

Time horizon

Short-term

Likelihood

Virtually certain

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure**Cost to realize opportunity**

Strategy to realize opportunity and explanation of cost calculation

Comment

Identifier

Opp4

Where in the value chain does the opportunity occur?

Upstream

Opportunity type

Resilience

Primary climate-related opportunity driver

Resource substitutes/diversification

Primary potential financial impact

Increased revenues resulting from increased demand for products and services

Company-specific description

気候変動に伴う平均気温の上昇や、降水・気象パターンの変化、海面上昇などの慢性的物理的リスクにより、安定的な調達・供給ニーズが高まり、既存・潜在の顧客企業が自社のサプライチェーンを見直すことが予想されます。当社は国内外に約60の拠点を構えており、拠点を中心としたグローバルなネットワークを持ち、商材開発・パートナー開拓・物流ノウハウといった複合的な商社機能を要しています。物理的リスクが慢性化することにより、不確実性が高まる中でも安定的な調達・供給が可能なサプライヤーのニーズが高まることで、レジリエントな調達・供給機能を提供できる当社の需要が拡大することが見込まれます。例えば、資金力を生かした在庫拡充であったり、樹脂コンパウンド事業に代表される現地での加工委託等を含めた現地化推進であったり、食品事業における農業・水産資源の上流への事業拡大による安定確保等の機能を基に、変化に応じた調達・供給をすることが可能です。また、気候変動に適応した商材やサービスの需要が拡大することも見込まれ、気候変動に適応した農業・水産資源などの売上が拡大することが考えられます。

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Very likely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

Cost to realize opportunity

Strategy to realize opportunity and explanation of cost calculation

Comment

C3. Business Strategy

C3.1

(C3.1) Does your organization's strategy include a transition plan that aligns with a 1.5°C world?

Row 1

Transition plan

No, but our strategy has been influenced by climate-related risks and opportunities, and we are developing a transition plan within two years

Publicly available transition plan

<Not Applicable>

Mechanism by which feedback is collected from shareholders on your transition plan

<Not Applicable>

Description of feedback mechanism

<Not Applicable>

Frequency of feedback collection

<Not Applicable>

Attach any relevant documents which detail your transition plan (optional)

<Not Applicable>

Explain why your organization does not have a transition plan that aligns with a 1.5°C world and any plans to develop one in the future

現在はシナリオ分析を行っておらず、来年度シナリオ分析を行い、移行計画を策定する予定。

Explain why climate-related risks and opportunities have not influenced your strategy

<Not Applicable>

C3.2

(C3.2) Does your organization use climate-related scenario analysis to inform its strategy?

	Use of climate-related scenario analysis to inform strategy	Primary reason why your organization does not use climate-related scenario analysis to inform its strategy	Explain why your organization does not use climate-related scenario analysis to inform its strategy and any plans to use it in the future
Row 1	No, but we anticipate using qualitative and/or quantitative analysis in the next two years	Lack of internal resources	現在はシナリオ分析を行っておらず、来年度シナリオ分析を行い、移行計画を策定する予定。

C3.3

(C3.3) Describe where and how climate-related risks and opportunities have influenced your strategy.

	Have climate-related risks and opportunities influenced your strategy in this area?	Description of influence
Products and services	Yes	気候変動問題は、当社の商材やソリューションの事業機会の増加要因として、大きく影響を及ぼしています。2021年4月からの3か年中期経営計画「New Challenge 2023」の中でも、主要重点施策の1つとして「環境負荷低減商材の拡充」を掲げ、注力しています。また、2022年6月に特定したマテリアリティの中でも「脱炭素社会・循環型社会への貢献/自然資本の持続可能な利活用」を掲げています。このマテリアリティでは「脱炭素社会・循環型社会の実現に向けて、再生可能エネルギー関連や代替燃料関連、リサイクル関連、EV関連等の環境ビジネス（環境負荷低減商材）に注力していきます。また、建材関連や食品関連等のビジネスを通じて、自然資本の持続可能な利活用を進めていきます。」ということを目指しています。具体的には、当社の売上の約4割を占める情報電子セグメントにおいては、太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギー関連ビジネスへの注力を気候関連の戦略としています。また、同様に売上の約4割を占める合成樹脂セグメントにおいては、リサイクル材やバイオマス材などの非化石由来原料の利活用と販販を進めています。合成樹脂事業の分野では廃プラスチックが社会問題となっているなか、当社は国際アライアンス「Alliance to End Plastic Waste（AEPW）」に参加し、プラスチック廃棄物問題の解決に向け、取り組みを進めています。将来的なプラスチック廃棄物問題の解決策には、プラスチックのリサイクル技術の開発・社会実装があると認識しており、当社ではマテリアルリサイクルビジネスに取り組み、プラスチック循環社会の構築を目指す取り組みを進めています。化学品セグメントにおいては、地産地消による輸送時CO2の削減を目的とした国産商材の開発やパートナー開拓に取り組んでいます。生態系サービスとの関わりが多い生活産業セグメントの食品事業においては、川上～川下展開による農水産物の効率的な生産・加工サイクルの構築や、J-クレジット制度を活用したビジネス展開の検討などを進めています。
Supply chain and/or value chain	Yes	気候変動問題は、当社グループのサプライチェーン・バリューチェーンについての戦略に大きく影響を及ぼしています。2022年6月に特定したマテリアリティの中で「レジリエントな調達・供給機能を通じた価値提供」を掲げています。このマテリアリティでは「柔軟で最適な取引を継続的に提供することは、当社である当社グループの重要な機能です。不確実性が高く、未来が予測しにくい社会において、変化する顧客や社会のニーズに応え、課題解決に貢献する当社グループの機能は、その価値をより発揮します。グローバルなネットワークを活かし、商材開発・パートナー開拓・物流ノウハウといった複合的な商社機能を駆使して、サプライチェーンマネジメントを強化し、レジリエントな調達・供給機能を通じて価値を提供していきます。」と掲げています。気候変動に伴う台風や豪雨、猛暑などの異常気象の激甚化や多発といった急性的物理的リスク、および平均気温の上昇や、降水・気象パターンの変化、海面上昇などの慢性的物理的リスクは、当社の強みである安定的な調達・供給機能に大きな影響を与えます。そのため、リスクを回避し、機会を拡大するために、戦略的に取り組みを進めています。具体的には、資金力を生かした在庫の拡充や、海外製造会社との強化などの現地化推進、サプライチェーンのレジリエンス強化（BCP策定、サプライヤー多様化等）、原材料の見直しおよび仕入れ先の多様化・関係強化、農業・水産資源の安定確保に向けた上流への事業拡大（栽培～養殖領域へのビジネス領域拡大）などを進めています。
Investment in R&D	No	
Operations	Yes	気候変動問題は、当社の各拠点におけるGHG排出削減対応の戦略に大きな影響を及ぼしています。2022年6月に特定したマテリアリティの中で「脱炭素社会・循環型社会への貢献/自然資本の持続可能な利活用」を掲げています。また、事業活動での温室効果ガス（GHG）排出量を2050年度までにネットゼロ（実質ゼロ：スコープ1および2）にする「2050年カーボンニュートラル宣言」を発表しました。この長期目標の達成に向けて、国単位での炭素税動向等の情報収集や、環境配慮型オフィスへの転換、最適なタイミングでの再生可能エネルギー導入の検討などを進めています。中でも、2022年1月に発表した東京本社ビルの建替えにおいては、エネルギー効率なども考慮し、GHG排出量削減面での配慮もされた新本社ビルを検討しています。

C3.4

(C3.4) Describe where and how climate-related risks and opportunities have influenced your financial planning.

	Financial planning elements that have been influenced	Description of influence
Row 1	Revenues	当社の収益計画を策定する上で、収益増加要因として、大きく影響を及ぼしています。2021年4月からの3か年中期経営計画「New Challenge 2023」の中で、主要重点施策の1つとして「環境負荷低減商材の拡充」を掲げ、注力しています。また、2022年6月に特定したマテリアリティの1つである「脱炭素社会・循環型社会への貢献/自然資本の持続可能な利活用」の中で、再生可能エネルギー関連や代替燃料関連、リサイクル関連、EV関連等の環境ビジネス（環境負荷低減商材）に注力していくことを掲げています。再生可能エネルギー関連は情報電子セグメントと化学品セグメント、代替燃料関連は情報電子セグメント、リサイクル関連・EV関連は情報電子セグメントと化学品セグメントと合成樹脂セグメントが、それぞれ関連しています。当社では、気候変動がもたらすこれらの環境負荷低減商材の需要拡大の機会を獲得することを目指しています。現在、環境負荷低減商材の定義を再整理し、売上高を算定しています。今秋、情報開示を行う予定です。今後、中期経営計画に沿って、環境負荷低減商材の売上高の進捗についても確認・報告していきます。

C4. Targets and performance

C4.1

(C4.1) Did you have an emissions target that was active in the reporting year?

No target

C4.1c

(C4.1c) Explain why you did not have an emissions target, and forecast how your emissions will change over the next five years.

	Primary reason	Five-year forecast	Please explain
Row 1	We are planning to introduce a target in the next two years	削減方向	2022年に「2050年カーボンニュートラル」という長期目標を発表したため、長期的には削減の方向で進める予定。中間目標については、来年度の設定を予定。

C4.2

(C4.2) Did you have any other climate-related targets that were active in the reporting year?

No other climate-related targets

C4.3

(C4.3) Did you have emissions reduction initiatives that were active within the reporting year? Note that this can include those in the planning and/or implementation phases.

No

C4.3d

(C4.3d) Why did you not have any emissions reduction initiatives active during the reporting year?

現在、バウンダリー・スコープの拡大を含む、社内の現状把握に努めており、それを基に来年度、中間目標の設定と排出量削減活動の諸施策・計画の策定を予定している。

C4.5

(C4.5) Do you classify any of your existing goods and/or services as low-carbon products?

Yes

C4.5a

(C4.5a) Provide details of your products and/or services that you classify as low-carbon products.

Level of aggregation
Group of products or services

Taxonomy used to classify product(s) or service(s) as low-carbon

No taxonomy used to classify product(s) or service(s) as low carbon

Type of product(s) or service(s)

Biofuels	Biomass gasification
----------	----------------------

Description of product(s) or service(s)

【岡山県西粟倉村の「バイオマス発電事業」】

当社がバイオマス発電システムを扱うきっかけとなったのが、岡山県西粟倉村でのヒアリングがきっかけでした。林地残材や間伐材を活用したバイオマス発電事業は、森林保全に貢献し、災害等で停電しても自家発電が叶います。そうした利点に高い関心を示した西粟倉村に対し、バイオマス発電機の選定と、設置を含むシステム構築を提案。当社としては初めての取り組みでしたが、着実に事業を進捗させ、2021年1月に設置工事を完了しました。そして、現在は、西粟倉村での実績を起点として、北海道厚真町や他の自治体との取り組みも進めています。

【広島県福山市において発電出力52,700kWの木質専焼バイオマス発電所を開発】

当社は、中部電力（株）、太平電業（株）、東京産業（株）、Solariant Capital（株）（以下ソラリアント）、日立造船（株）の各社とともに、ソラリアントが設立した「福山バイオマス発電所合同会社」（以下、本事業会社）との間で匿名組合契約を締結し、本事業会社がプロジェクトファイナンスによる融資契約を締結しました。本事業会社は、広島県福山市において発電出力 52,700kW の木質専焼の「福山バイオマス発電所」を建設、運営することを目的とした会社で、2025 年 5 月の運転開始を目指しています。想定年間発電電力量は約3.8億kWh（一般家庭約12万世帯分に相当）です。当社は、本発電事業において、本事業会社の燃料である木質ペレット・木質チップ（広島県産の未利用間伐材等）の管理業務を受託します。

Have you estimated the avoided emissions of this low-carbon product(s) or service(s)

No

Methodology used to calculate avoided emissions

<Not Applicable>

Life cycle stage(s) covered for the low-carbon product(s) or services(s)

<Not Applicable>

Functional unit used

<Not Applicable>

Reference product/service or baseline scenario used

<Not Applicable>

Life cycle stage(s) covered for the reference product/service or baseline scenario

<Not Applicable>

Estimated avoided emissions (metric tons CO2e per functional unit) compared to reference product/service or baseline scenario

<Not Applicable>

Explain your calculation of avoided emissions, including any assumptions

<Not Applicable>

Revenue generated from low-carbon product(s) or service(s) as % of total revenue in the reporting year

Level of aggregation

Group of products or services

Taxonomy used to classify product(s) or service(s) as low-carbon

No taxonomy used to classify product(s) or service(s) as low carbon

Type of product(s) or service(s)

Power	Solar PV
-------	----------

Description of product(s) or service(s)

先進的な低炭素技術の多くはイニシャルコストやランニングコストが高く、途上国においては投資回収の予測が難しいという現状があります。こうした現状を受け、日本政府と環境省は、優れた低炭素技術・システム・インフラなどを途上国に提供してGHGを削減するとともに、二国間クレジット制度（JCM）を通じて日本のGHG排出削減目標の達成に資する活動に取り組んでいます。

そのなかで当社は、2020年度のJCM事業として採択された「ブロックチェーン技術を導入したタイのチェンマイ大学町コミュニティにおける2.5MW太陽光発電プロジェクト」に代表事業者として参加しています。

同プロジェクトは、チェンマイ大学町のキャンパスにある複数の建屋の屋根に分散して合計2.5MWの太陽光発電システムを導入するもので、ブロックチェーン技術を活用することでコミュニティにおける再生エネルギー導入量の拡大と最大利用化を実現し、GHG排出量の削減に大きく貢献します。

Have you estimated the avoided emissions of this low-carbon product(s) or service(s)

No

Methodology used to calculate avoided emissions

<Not Applicable>

Life cycle stage(s) covered for the low-carbon product(s) or services(s)

<Not Applicable>

Functional unit used

<Not Applicable>

Reference product/service or baseline scenario used

<Not Applicable>

Life cycle stage(s) covered for the reference product/service or baseline scenario

<Not Applicable>

Estimated avoided emissions (metric tons CO2e per functional unit) compared to reference product/service or baseline scenario

<Not Applicable>

Explain your calculation of avoided emissions, including any assumptions

<Not Applicable>

Revenue generated from low-carbon product(s) or service(s) as % of total revenue in the reporting year

Level of aggregation

Group of products or services

Taxonomy used to classify product(s) or service(s) as low-carbon

No taxonomy used to classify product(s) or service(s) as low carbon

Type of product(s) or service(s)

Chemicals and plastics	Physical absorption of CO2
------------------------	----------------------------

Description of product(s) or service(s)

合成樹脂第二本部では、プラスチック加工工場の製造工程で発生する廃プラスチックや、使用済みプラスチックをリサイクルするマテリアルリサイクルビジネスに取り組んでいます。本ビジネスは顧客企業であるプラスチック加工メーカーが、廃プラスチックの処理に困っていたことから、資源有効活用の提案として始めました。当社がプラスチック加工工場や物流倉庫などから回収した廃プラスチックは、提携先のリサイクル業者で分別・粉碎・溶解後、ペレット状の再生樹脂原料に加工されます。長年の合成樹脂事業の経験を生かし、廃プラスチック回収から加工・販売まで当社が一貫して携わることで、高品質な再生樹脂原料の安定供給を実現しています。出来上がった再生樹脂原料は、プラスチック加工メーカーで再利用されるほか、国内外の当社グループの製造・加工会社などで加工され、新たなプラスチック製品に生まれ変わります。現在は、エコバッグやごみ袋のほか、各種生活雑貨容器をはじめとした暮らしに身近な商品への展開も進めています。当社が取り組むマテリアルリサイクルビジネスが取り扱う再生樹脂原料は、従来の再生樹脂原料を取り扱う他企業とは一線を画しています。従来の再生樹脂は量産を目的としているため、樹脂の種類や品質や供給量にばらつきがありますが、当社は、回収した廃プラスチックを厳選し管理を行うことにより、生産ロスやリペレットされたプラスチックの品質のばらつきを低減しています。また、生産したリペレットの物性試験や溶出試験を行うことで、バージン樹脂に近い高い品質と安定した供給量を実現することができます。再生材でありながら新品に近い感覚で使用できる「リサイクルプラスチック＝付加価値」という新たな市場を創造することで、環境意識の高いブランドオーナーから求められる商材を目指しています。

Have you estimated the avoided emissions of this low-carbon product(s) or service(s)

No

Methodology used to calculate avoided emissions

<Not Applicable>

Life cycle stage(s) covered for the low-carbon product(s) or services(s)

<Not Applicable>

Functional unit used

<Not Applicable>

Reference product/service or baseline scenario used

<Not Applicable>

Life cycle stage(s) covered for the reference product/service or baseline scenario

<Not Applicable>

Estimated avoided emissions (metric tons CO2e per functional unit) compared to reference product/service or baseline scenario

<Not Applicable>

Explain your calculation of avoided emissions, including any assumptions

<Not Applicable>

Revenue generated from low-carbon product(s) or service(s) as % of total revenue in the reporting year

C5. Emissions methodology

C5.1

(C5.1) Is this your first year of reporting emissions data to CDP?

Yes

C5.2

(C5.2) Provide your base year and base year emissions.

Scope 1

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 2 (location-based)

Base year start

April 1 2021

Base year end

March 31 2022

Base year emissions (metric tons CO2e)

28849

Comment

稲畑産業(株) および海外樹脂コンパウンド製造会社7社が対象

Scope 2 (market-based)

Base year start

April 1 2021

Base year end

March 31 2022

Base year emissions (metric tons CO2e)

28824

Comment

稲畑産業(株) および海外樹脂コンパウンド製造会社7社が対象

Scope 3 category 1: Purchased goods and services

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 2: Capital goods

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 3: Fuel-and-energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 4: Upstream transportation and distribution

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 5: Waste generated in operations

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 6: Business travel

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 7: Employee commuting

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 8: Upstream leased assets

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 9: Downstream transportation and distribution

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 10: Processing of sold products

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 11: Use of sold products

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 12: End of life treatment of sold products

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 13: Downstream leased assets

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 14: Franchises

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3 category 15: Investments

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3: Other (upstream)

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

Scope 3: Other (downstream)

Base year start

Base year end

Base year emissions (metric tons CO2e)

Comment

C5.3

(C5.3) Select the name of the standard, protocol, or methodology you have used to collect activity data and calculate emissions.

Japan Ministry of the Environment, Law Concerning the Promotion of the Measures to Cope with Global Warming, Superseded by Revision of the Act on Promotion of Global Warming Countermeasures (2005 Amendment)

The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (Revised Edition)

The Greenhouse Gas Protocol: Scope 2 Guidance

C6. Emissions data

C6.1

(C6.1) What were your organization's gross global Scope 1 emissions in metric tons CO₂e?

Reporting year

Gross global Scope 1 emissions (metric tons CO₂e)

Start date

<Not Applicable>

End date

<Not Applicable>

Comment

C6.2

(C6.2) Describe your organization's approach to reporting Scope 2 emissions.

Row 1

Scope 2, location-based

We are reporting a Scope 2, location-based figure

Scope 2, market-based

We are reporting a Scope 2, market-based figure

Comment

C6.3

(C6.3) What were your organization's gross global Scope 2 emissions in metric tons CO₂e?

Reporting year

Scope 2, location-based

28849

Scope 2, market-based (if applicable)

28824

Start date

<Not Applicable>

End date

<Not Applicable>

Comment

報告年の報告範囲（バウンダリ）に関し、稲畑産業株式会社およびグループの中でも排出量の多い海外樹脂コンパウンド製造会社7社分の購入した電気利用量からのCO₂排出量を報告します。

マーケット基準については、国内はマーケット基準・海外はロケーション基準（マーケット基準での算定が困難なため）の合算での報告とします。

C6.4

(C6.4) Are there any sources (e.g. facilities, specific GHGs, activities, geographies, etc.) of Scope 1 and Scope 2 emissions that are within your selected reporting boundary which are not included in your disclosure?

No

C6.5

(C6.5) Account for your organization's gross global Scope 3 emissions, disclosing and explaining any exclusions.

Purchased goods and services

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Capital goods

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

商社のため、あまり事業に大きな影響がないと判断。

Fuel-and-energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Upstream transportation and distribution

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Waste generated in operations

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Business travel

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Employee commuting

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Upstream leased assets

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Downstream transportation and distribution

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Processing of sold products

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Use of sold products

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

商社のため、あまり事業に大きな影響がないと判断。

End of life treatment of sold products

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

商社のため、あまり事業に大きな影響がないと判断。

Downstream leased assets

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Franchises

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

フランチャイズの業態ではないため。

Investments

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Other (upstream)

Evaluation status

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

Other (downstream)

Evaluation status

Emissions in reporting year (metric tons CO2e)

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Please explain

C6.7

(C6.7) Are carbon dioxide emissions from biogenic carbon relevant to your organization?

No

C6.10

(C6.10) Describe your gross global combined Scope 1 and 2 emissions for the reporting year in metric tons CO2e per unit currency total revenue and provide any additional intensity metrics that are appropriate to your business operations.

Intensity figure

8.23e-8

Metric numerator (Gross global combined Scope 1 and 2 emissions, metric tons CO2e)

28824

Metric denominator

unit total revenue

Metric denominator: Unit total

350080000000

Scope 2 figure used

Market-based

% change from previous year

0.08

Direction of change

Decreased

Reason for change

コロナウイルスの影響を受けた前年に比べ、海外樹脂コンパウンド製造会社の生産が回復したため、排出量については700トン弱増加したが、分母である売上高も回復したため、原単位としては減少した。

C7. Emissions breakdowns

C7.1

(C7.1) Does your organization break down its Scope 1 emissions by greenhouse gas type?

No

C7.2

(C7.2) Break down your total gross global Scope 1 emissions by country/region.

Country/Region	Scope 1 emissions (metric tons CO2e)
----------------	--------------------------------------

C7.3

(C7.3) Indicate which gross global Scope 1 emissions breakdowns you are able to provide.

C7.5

(C7.5) Break down your total gross global Scope 2 emissions by country/region.

Country/Region	Scope 2, location-based (metric tons CO2e)	Scope 2, market-based (metric tons CO2e)
Japan	384	359
Indonesia	5662	
Viet Nam	5079	
Malaysia	4989	
China	2601	
Mexico	1895	
Thailand	6572	
Philippines	1668	

C7.6

(C7.6) Indicate which gross global Scope 2 emissions breakdowns you are able to provide.

By facility

C7.6b

(C7.6b) Break down your total gross global Scope 2 emissions by business facility.

Facility	Scope 2, location-based (metric tons CO2e)	Scope 2, market-based (metric tons CO2e)
稲畑産業 東京本社	289	281
稲畑産業 名古屋支店	15	13
稲畑産業 大阪本社	80	65
PT. S-IK Indonesia	5662	
SIK Vietnam Co., Ltd.	5079	
SIK Color (M) Sdn. Bhd.	4989	
Inabata Industry & Trade(Dalian F.T.Z.) Co., Ltd.	2601	
IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.	1895	
SIK (Thailand) Ltd.	6572	
IK Plastic Compound Phils. Inc.	1668	

C7.9

(C7.9) How do your gross global emissions (Scope 1 and 2 combined) for the reporting year compare to those of the previous reporting year?

Increased

C7.9a

(C7.9a) Identify the reasons for any change in your gross global emissions (Scope 1 and 2 combined), and for each of them specify how your emissions compare to the previous year.

	Change in emissions (metric tons CO2e)	Direction of change	Emissions value (percentage)	Please explain calculation
Change in renewable energy consumption		<Not Applicable>		
Other emissions reduction activities		<Not Applicable>		
Divestment		<Not Applicable>		
Acquisitions		<Not Applicable>		
Mergers		<Not Applicable>		
Change in output	626	Increased	2.22	スコープ2の排出量の増加が626トンであり、前年度の総排出量が28,198トンのため、 $626/28,198 \times 100 = 2.22\%$ とした。
Change in methodology		<Not Applicable>		
Change in boundary		<Not Applicable>		
Change in physical operating conditions		<Not Applicable>		
Unidentified		<Not Applicable>		
Other		<Not Applicable>		

C7.9b

(C7.9b) Are your emissions performance calculations in C7.9 and C7.9a based on a location-based Scope 2 emissions figure or a market-based Scope 2 emissions figure?

Market-based

C8. Energy

C8.1

(C8.1) What percentage of your total operational spend in the reporting year was on energy?

More than 0% but less than or equal to 5%

C8.2

(C8.2) Select which energy-related activities your organization has undertaken.

	Indicate whether your organization undertook this energy-related activity in the reporting year
Consumption of fuel (excluding feedstocks)	Please select
Consumption of purchased or acquired electricity	Yes
Consumption of purchased or acquired heat	Please select
Consumption of purchased or acquired steam	Please select
Consumption of purchased or acquired cooling	Please select
Generation of electricity, heat, steam, or cooling	Please select

C8.2a

(C8.2a) Report your organization's energy consumption totals (excluding feedstocks) in MWh.

	Heating value	MWh from renewable sources	MWh from non-renewable sources	Total (renewable and non-renewable) MWh
Consumption of fuel (excluding feedstock)	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of purchased or acquired electricity	<Not Applicable>	0	45926	45926
Consumption of purchased or acquired heat	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of purchased or acquired steam	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of purchased or acquired cooling	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of self-generated non-fuel renewable energy	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Total energy consumption	<Not Applicable>	0	45926	45926

C8.2e

(C8.2e) Provide details on the electricity, heat, steam, and/or cooling amounts that were accounted for at a zero or near-zero emission factor in the market-based Scope 2 figure reported in C6.3.

C8.2g

(C8.2g) Provide a breakdown of your non-fuel energy consumption by country.

Country/area

Japan

Consumption of electricity (MWh)

886

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

886

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

Indonesia

Consumption of electricity (MWh)

7280

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

7280

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

Viet Nam

Consumption of electricity (MWh)

8443

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

8443

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

Malaysia

Consumption of electricity (MWh)

7442

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

7442

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

China

Consumption of electricity (MWh)

3058

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

3058

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

Mexico

Consumption of electricity (MWh)

3581

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

3581

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

Thailand

Consumption of electricity (MWh)

11976

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

11976

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

Country/area

Philippines

Consumption of electricity (MWh)

3261

Consumption of heat, steam, and cooling (MWh)

0

Total non-fuel energy consumption (MWh) [Auto-calculated]

3261

Is this consumption excluded from your RE100 commitment?

<Not Applicable>

C9. Additional metrics

C9.1**(C9.1) Provide any additional climate-related metrics relevant to your business.****Description**

Waste

Metric value

76

Metric numerator**Metric denominator (intensity metric only)****% change from previous year**

13.4

Direction of change

Increased

Please explain

国内拠点における廃棄物発生量 (t)。コロナウイルスの影響により、前年度は廃棄物発生量が削減されていたが、報告年度は経済活動が回復したことにより、廃棄物発生量も前年比13.4%増加した。

C10. Verification

C10.1

(C10.1) Indicate the verification/assurance status that applies to your reported emissions.

	Verification/assurance status
Scope 1	No emissions data provided
Scope 2 (location-based or market-based)	No third-party verification or assurance
Scope 3	No emissions data provided

C10.2

(C10.2) Do you verify any climate-related information reported in your CDP disclosure other than the emissions figures reported in C6.1, C6.3, and C6.5?

No, but we are actively considering verifying within the next two years

C11. Carbon pricing

C11.1

(C11.1) Are any of your operations or activities regulated by a carbon pricing system (i.e. ETS, Cap & Trade or Carbon Tax)?

No, and we do not anticipate being regulated in the next three years

C11.2

(C11.2) Has your organization originated or purchased any project-based carbon credits within the reporting period?

No

C11.3

(C11.3) Does your organization use an internal price on carbon?

No, and we do not currently anticipate doing so in the next two years

C12. Engagement

C12.1

(C12.1) Do you engage with your value chain on climate-related issues?

Yes, our customers/clients

C12.1b

(C12.1b) Give details of your climate-related engagement strategy with your customers.

Type of engagement & Details of engagement

Education/information sharing	Run an engagement campaign to education customers about your climate change performance and strategy
-------------------------------	--

% of customers by number

1.8

% of customer - related Scope 3 emissions as reported in C6.5

Please explain the rationale for selecting this group of customers and scope of engagement

稲畑産業は4つの事業セグメントにおいて多様な顧客と取り引きを行っており、その多くは気候変動への対策や環境配慮のバリューチェーンの構築を目指しているお客様です。現在、当社には5社からCDPの回答要請があり、また、約50社から気候変動に関わる顧客独自のアンケートへの回答要請が届いています。当社ではそれらの要請に対して、必要な情報の開示への協力と方針を理解した行動を実践しています。当社の顧客数約3,000社に対して回答要請が55社であり、その割合は1.8%となります。

Impact of engagement, including measures of success

エンゲージメントの成功の評価方法としては、CDPへの回答かつ顧客の求めるCDPスコアの獲得と、顧客からのアンケートへの回答かつ要求される各種ガイドライン等の遵守です。各種ガイドラインへの対応状況については、定期的な顧客アンケート等で進捗管理されています。これらの顧客は、サプライチェーン全体で気候変動の取り組みを進めることを目指しているため、当社がCO2の排出量の削減等の取り組みを進めることは、バリューチェーンにおける低炭素化に貢献します。

C12.2

(C12.2) Do your suppliers have to meet climate-related requirements as part of your organization's purchasing process?

No, but we plan to introduce climate-related requirements within the next two years

C12.3

(C12.3) Does your organization engage in activities that could either directly or indirectly influence policy, law, or regulation that may impact the climate?

Row 1

Direct or indirect engagement that could influence policy, law, or regulation that may impact the climate

Yes, we engage indirectly through trade associations

Does your organization have a public commitment or position statement to conduct your engagement activities in line with the goals of the Paris Agreement?

Yes

Attach commitment or position statement(s)

2050年カーボンニュートラル宣言
2050年カーボンニュートラル宣言.pdf

Describe the process(es) your organization has in place to ensure that your engagement activities are consistent with your overall climate change strategy

気候変動に関する方針と施策の策定・承認、モニタリングを実施するサステナビリティ委員会および取締役会において、顧客とのエンゲージメント活動であるCDPや顧客アンケートの回答について、回答状況やスコア結果等についての報告を行う。

Primary reason for not engaging in activities that could directly or indirectly influence policy, law, or regulation that may impact the climate

<Not Applicable>

Explain why your organization does not engage in activities that could directly or indirectly influence policy, law, or regulation that may impact the climate

<Not Applicable>

C12.3b

(C12.3b) Provide details of the trade associations your organization engages with which are likely to take a position on any policy, law or regulation that may impact the climate.

Trade association

Other, please specify (一般社団法人 日本貿易会 (地球環境委員会/サステナビリティ推進委員会))

Is your organization's position on climate change consistent with theirs?

Consistent

Has your organization influenced, or is your organization attempting to influence their position?

We publicly promote their current position

State the trade association's position on climate change, explain where your organization's position differs, and how you are attempting to influence their position (if applicable)

業界団体である一般社団法人日本貿易会において、当社の代表取締役社長執行役員は常任理事を務めています。日本貿易会には、複数の委員会組織がありますが、当社は地球環境委員会およびサステナビリティ推進委員会に委員として参加しています。

日本貿易会では、2002年に「商社環境行動基準」を制定し、地球環境の健全な維持と国際社会の調和的発展を目指す「持続可能な発展」の実現に向けて努力することにより、広く社会に貢献することを目指しています。

また、2020年には「気候変動対策長期ビジョン」を定めました。本ビジョンでは「日本貿易会は、カーボンニュートラルな社会の実現を目指して、他業界・他団体との連携を有効に活用し、各々の長期ビジョンと協調して、2050年に向けたパリ協定における長期目標の達成への貢献を目指します。このビジョンの下、会員企業は気候変動緩和策・適応策の検討・実施をビジネス上の重要課題と捉え、新たなビジネス、ソリューションの創出に努めます。

私たちは、時代の変化や多様なニーズに応じて事業内容を柔軟に進化させてきました。全世界をフィールドに、多岐にわたる産業分野の様々なプレーヤーと連携してビジネスを進めている商社だからこそ、気候変動というグローバルな課題の解決に、その機能を存分に発揮して貢献することが可能であると考えています。」と掲げています。

この日本貿易会の気候変動に対する立場は、当社が掲げるカーボンニュートラルと一致しており、常任理事を務めている立場から、これらの活動推進についてリーダーシップを取りながら積極的に参画しています。

Funding figure your organization provided to this trade association in the reporting year, if applicable (currency as selected in C0.4) (optional)

12671000

Describe the aim of your organization's funding

気候変動を含む情報共有やエンゲージメントを業界他社と深める場とするため。

Have you evaluated whether your organization's engagement with this trade association is aligned with the goals of the Paris Agreement?

Yes, we have evaluated, and it is aligned

C12.4

(C12.4) Have you published information about your organization's response to climate change and GHG emissions performance for this reporting year in places other than in your CDP response? If so, please attach the publication(s).

Publication

In other regulatory filings

Status

Complete

Attach the document

corporate_governance220623.pdf

Page/Section reference

p22-25

Content elements

Governance
 Strategy
 Risks & opportunities
 Emissions figures
 Emission targets

Comment

C15. Biodiversity

C15.1

(C15.1) Is there board-level oversight and/or executive management-level responsibility for biodiversity-related issues within your organization?

	Board-level oversight and/or executive management-level responsibility for biodiversity-related issues	Description of oversight and objectives relating to biodiversity	Scope of board-level oversight
Row 1	Yes, board-level oversight		<Not Applicable>

C15.2

(C15.2) Has your organization made a public commitment and/or endorsed any initiatives related to biodiversity?

	Indicate whether your organization made a public commitment or endorsed any initiatives related to biodiversity	Biodiversity-related public commitments	Initiatives endorsed
Row 1	No, but we plan to do so within the next 2 years	<Not Applicable>	<Not Applicable>

C15.3

(C15.3) Does your organization assess the impact of its value chain on biodiversity?

	Does your organization assess the impact of its value chain on biodiversity?	Portfolio
Row 1	No, but we plan to assess biodiversity-related impacts within the next two years	<Not Applicable>

C15.4

(C15.4) What actions has your organization taken in the reporting year to progress your biodiversity-related commitments?

	Have you taken any actions in the reporting period to progress your biodiversity-related commitments?	Type of action taken to progress biodiversity-related commitments
Row 1	No, we are not taking any actions to progress our biodiversity-related commitments, but we plan to within the next two years	<Not Applicable>

C15.5

(C15.5) Does your organization use biodiversity indicators to monitor performance across its activities?

	Does your organization use indicators to monitor biodiversity performance?	Indicators used to monitor biodiversity performance
Row 1	No, we do not use indicators, but plan to within the next two years	Please select

C15.6

(C15.6) Have you published information about your organization's response to biodiversity-related issues for this reporting year in places other than in your CDP response? If so, please attach the publication(s).

Report type	Content elements	Attach the document and indicate where in the document the relevant biodiversity information is located
In voluntary sustainability report or other voluntary communications	Content of biodiversity-related policies or commitments	9月末発行予定の統合報告書で記載

C16. Signoff

C-FI

(C-FI) Use this field to provide any additional information or context that you feel is relevant to your organization's response. Please note that this field is optional and is not scored.

C16.1

(C16.1) Provide details for the person that has signed off (approved) your CDP climate change response.

	Job title	Corresponding job category
Row 1	代表取締役専務執行役員	Chief Sustainability Officer (CSO)

SC. Supply chain module

SC0.0

(SC0.0) If you would like to do so, please provide a separate introduction to this module.

SC0.1

(SC0.1) What is your company's annual revenue for the stated reporting period?

	Annual Revenue
Row 1	680962000000

SC1.1

(SC1.1) Allocate your emissions to your customers listed below according to the goods or services you have sold them in this reporting period.

SC1.2

(SC1.2) Where published information has been used in completing SC1.1, please provide a reference(s).

SC1.3

(SC1.3) What are the challenges in allocating emissions to different customers, and what would help you to overcome these challenges?

Allocation challenges	Please explain what would help you overcome these challenges
Diversity of product lines makes accurately accounting for each product/product line cost ineffective	

SC1.4

(SC1.4) Do you plan to develop your capabilities to allocate emissions to your customers in the future?

No

SC1.4b

(SC1.4b) Explain why you do not plan to develop capabilities to allocate emissions to your customers.

販売製品が多岐にわたるため、算定が困難であり、その算定をする仕組みが社内に構築されていないため。

SC2.1

(SC2.1) Please propose any mutually beneficial climate-related projects you could collaborate on with specific CDP Supply Chain members.

SC2.2

(SC2.2) Have requests or initiatives by CDP Supply Chain members prompted your organization to take organizational-level emissions reduction initiatives?

No

SC4.1

(SC4.1) Are you providing product level data for your organization's goods or services?

No, I am not providing data

Submit your response

In which language are you submitting your response?

Japanese

Please confirm how your response should be handled by CDP

	I understand that my response will be shared with all requesting stakeholders	Response permission
Please select your submission options	Yes	Public

Please confirm below

I have read and accept the applicable Terms